

新評論

2021
9
No.316発行所 © 新評論 2021年
〒169-0051 新宿区西早稲田3-16-28
TEL03-3202-7391 FAX03-3202-5832
http://www.shinhyoron.co.jp
e-mail: shrn@shinhyoron.co.jp
振替 00160-1-113487 価格税込

1964年、ハダマー（ドイツ・ヘッセン州）に設置された犠牲者追悼の石柱（下部）。「人間よ、人間に敬意を」と刻まれている。ナチ時代、ドイツの6つの精神病院は「安楽死」殺害施設として秘密裡に使用されていた。（撮影：紀）

加害・犠牲者の両面からこの事象の思想的背景、計画・実行プロセスを明らかにし、過去と地続きの、私たちの「今」を逆照射。

「価値を否定された人々」

ナチス・ドイツの強制断種と「安楽死」

中野智世・木畑和子・梅原秀元・紀愛子

◆ジャンル：ナチス／ファシズム／優生思想／ドイツ近現代史／医学史／福祉史

ナチス・ドイツの強制断種政策と「安楽死」は、「もうひとつのホロコースト」とも言われる。当時のドイツでは、ユダヤ人のみならず、病気や障害のある人々、社会規範に逸脱するとみなされた人々が、優生学を背景とする政策によって「価値のない」「社会の負担となる」存在として強制的に断種（不妊化）され、さらに戦時下においては秘密裡に殺害されていた。そうした措置には、政権指導部はむしろのこと、医師や官僚、司法や福祉・教育関係者など様々な人々が関わっていた。わずか一〇年余りのナチ時代において強制断種の犠牲になった人々の数は四〇万人、「安楽死」の犠牲者は三〇万人に上る。近年、この問題は日本でも関心が高まっており、一般のメディアで言及されることも増えてきた。そこでは、ともすると「悪魔のようなヒトラー」と「恐るべき優生思想」といった「異常性」ですべてが説明されてしまうことも多い。しかし、この事象にもう少し踏み込んでその細部に目を凝らしてみると、これは決して「過去」の出来事ではなく、現在と地続きの問題であることがわかる。本書は、

当時の政治体制や社会・経済的状况を踏まえつつ、この事象の思想的背景や計画策定・実行のプロセスを明らかにし、加害者となった医療や福祉関係者、犠牲者とその家族の姿などを描いた上で、この問題が長きにわたる忘却と隠蔽の時代を経て、近年ようやく「ナチの不正」として謝罪と追悼の対象となるまでの道のりを明らかにする。「価値を否定された人々」の社会的排除が極限まで推し進められるプロセスとその行きついた先を見ることが、あらためて「人間の価値」とは何か、人間を価値づけるとはどういうことなのかを考える手がかりとしたい。

（執筆者一同）

ISBN978-4-7918-1192-9 9月10日刊
四六上製 予三三六頁 予三三〇〇円

◆「人間の価値」とは何か／ツヴェタン・トドロフの本

善のほかなさ

「ブルガリアにおけるユダヤ人救出」
小野 潮 訳 三三〇〇円

好評刊
野蠻への恐怖、文明への怨念
「文明の衝突論を超えて「文化の出会い」を考える」
大谷尚文・小野 潮 訳 三八五〇円

屈服しない人々

小野 潮 訳

二九七〇円

執筆者 中野智世 ドイツ近現代史、特に福祉・障害史、成城大学教授。木畑和子 ドイツ現代史、特にナチズム、成城大学名誉教授。梅原秀元 ドイツ近現代史、特に医学史・科学史、立教大学特任准教授。紀愛子 ドイツ現代史、特に歴史認識問題、早稲田大学非常勤講師。



生徒どうして成果物を見せあい、聞きあい、意見や評価を交換しあって学びに反映させることで、教室の風景が一変する！（写真はイメージ）

成果物や発表への意見・評価の反映で授業が、人間関係が、教室が一変！アメリカ発・最新手法で主体的な学びを実現

ピア・フィードバック

ICTも活用した生徒主体の学び方

スター・サックシュタイン／
田中理紗・山本佐江・吉田新一郎 訳

◆ジャンル：教育

フィードバック(Feedback)とは、もとも情報通信の分野で「システムから出力された信号がシステム内に戻り、出力結果を踏まえてシステムに影響を与えること」を指します。そこから転じて、「ある成果物への反応・意見・評価を反映させて成果物を改良・改善すること」もフィードバックと呼ばれるようになりました。いまや学校の教室でも、この「フィードバック」が日常的に行われていきます。生徒どうして発表やスピーチ、作文や新聞などの成果物を評価しあい、刺激を与えあい、またそこでもらったフィードバックを反映してさらに学びを深めることをめざして、さまざまな実践が試みられています。

しかし、フィードバックという行為は思った以上に難しいものです。成果物への実際のコメントを読むと、漠然とした褒め言葉や、具体的な改善点がわからない批判のための批判が多く、長く続いていると形式化してしまうこともままあります。最終的にフィードバックの役割は教師だけが担うことになり、大量の成果物に埋もれてお手上げ状態に……。これでは一方向的な従来の授業と何ら変わりませんし、教師の負担が増えるばかりです。

本書は、ピア・フィードバックによって生徒が互いに学びあう教室の作り方について、ICTの活用を含めた具体的な実践的なアドバイスや数多くの提示してくれそうです。ピア・フィードバックの文化が教室に浸透すると、教え方も学び方も刷新され、教室の風景がガラリと変わります。学びが変わるだけでなく、生徒どうしの関係、そして生徒と教師の関係にも変化がもたらされます。

ピア・フィードバックのパワフルな実践で、あなたの教室をさらに進化させてみませんか？ これまでの実践を振り返り、授業と教室を変えていく、本書はそんなきっかけを与えてくれる一冊です。
(田中理紗 私立かえつ有明中・高等学校教員)

ISBN 978-4-7948-1193-6 9月下旬刊
四六並製 二二六頁 予二二〇〇円

成績をハックする

〔評価を学びにいかす10の方法〕 二二〇〇円
S・サックシュタイン／高瀬裕人・吉田新一郎 訳

宿題をハックする

〔学校外でも学びを促進する10の方法〕
S・サックシュタイン／C・ハミルトン／
高瀬裕人・吉田新一郎 訳 二六四〇円

著者 Starr SACKSTEIN 20年にわたり中高生に英語とジャーナリズムを教えた後、ニューヨーク市郊外で教育委員会指導課長を務めた。現在は教育コンサルタントとして活躍中。邦訳既刊に『成績をハックする』『宿題をハックする』がある。

S・ヴェルデ(文)／P・レイノルズ『ぼくは にんげん』

コロナ禍だからこそ、
絵本のパワーを届けたい

上米良史子(絵本の会)

長引く「緊急事態宣言」と外出自粛。感染に気をつけながらの家事、育児、介護、通勤。そして家庭内感染が起きてしまった際の苦勞……このような困難の時期こそ、「絵本の力」を通じて元氣や勇気をわかちあいたい——その思いで絵本の読み聞かせ活動が続ける、元NHKキャスターで絵本講師の上米良史子さんに「寄稿いただきました」。

私たち「絵本の会」では、講師たちがボランティアで絵本の読み聞かせを定期的に行っていました。長引くコロナ禍の今だからこそ、少しでも人々を元氣



2021年8月2日(月)、川崎市国際交流センターで行われたイベントの様子

づけることはできないだろうかと思い、私たちはイベントを企画しました。第1部は脳性麻痺を克服し、プロのヴァイオリニストとして活躍されている式町水品さんのコンサート(有料)。そして第2部では、5人の講師がそれぞれみなさまにお薦めしたい絵本の読み聞かせを行うことにしました(無料)。オンラインではなく、しっかりと感染対策と人数制限をした上での対面イベントです。

講師の一人として私が選んだのが『ぼくは にんげん』です。大好きな1冊で、いつも勇氣と元氣をもらっています。一歩踏み出す勇氣が出ないとき、シヨックなことがあったときなど、本書に背中を押してもらったので、今回にびったりだと考えました。

そしてイベント当日の8月2日、川崎市の会場に、40名もの方々がご来場くださいました。定員150名の会場ですので、安全に、ゆったりとした雰囲気の中で楽しんでいたことができました。終了後、参加者の方々からは次のような感想が寄せられました。

「絵本は大人の私たちにも良い

んですね」
「絵本とヴァイオリンの音色がすごくマッチしていて心地よかったです」
「自分を見つめなおす機会をもったことに感謝の気持ちでいっぱいです。親子で参加できて本当に良かったです」
「疲れ気味の毎日だったので、読み聞かせに癒されました！」
「厳しく難しい時期だからこそ、絵本の魅力やパワーを通じて元氣と勇気をわかちあう活動を、これからも可能な範囲で続けていければと思います。」



島津やよい 訳
4歳以上向け
A5変型 34頁
1320円
ISBN978-4-7948-1152-3

かんめらふみこ「絵本の会」講師、絵本未来創造機構EQ絵本講師®、シニアインストラクター。元NHKキャスター、病院管理栄養士。子育てで悩み、疲弊していた時期に、潜在意識を変えるきっかけを与えてくれる絵本の力に気づき、絵本講座や絵本講師育成の活動に携わる。

太陽はきつとどこかで輝いている

M・グルエンバウム著 T・ハサクニロウイノ
林 幸子・酒井佑子訳

「ホロコーストの記憶」 人類は残虐行為にうち勝つことができるかと教えてくれる感動の物語(M・デユカキス、マサチューセッツ州知事)。
四六並製 四一六頁 二七五〇円



好評刊
ISBN978-4-7948-1183-7

テレジンの子どもたちから

林 幸子 編著

「ナチスに隠れて出された雑誌『MEDEM』より」 極限状態の中で子どもたちが残した表現。ロングセラー待望の新版。
A5並製 二六六頁 カラー 口絵八頁 二六四〇円



好評刊
ISBN978-4-7948-1181-4

善のはかなさ

T・トドロフ 編(テキスト収集及びコメント)ノ
小野 潮訳

「ブルガリアにおけるユダヤ人救出」 無力感を克服した人々の行動・感情はいかにして「善」を到来させたのか。
四六上製 二四八頁 三三〇〇円



好評刊
ISBN978-4-7948-1180-6

フォトジャーナリストが撮った世界の現実

川畑 嘉文

「無関心のすぐそばにある人生」 「光の当たることのない人々」の側に立ち、地を這い続ける著者渾身の問題提起の書。
四六並製 二六八頁 二四二〇円



好評刊
ISBN978-4-7948-1176-9

増補版 現代社会用語集

入江 公康

「社会」を学びたい若者のバイブル、初版後3年間の激動とコロナ禍をふまえた最新キーワードを追補した待望の新版。
四六変型並製 二三八頁 一八七〇円



好評刊
ISBN978-4-7948-1188-2

オランダ・ミラクル

松岡 洋子

「人と地域の『力』を信じる高齢者福祉」 「その人の幸福」に立脚する高齢者福祉の世界最先端を詳細報告！
四六並製 四〇〇頁 三七四〇円



最新刊
ISBN978-4-7948-1190-5

「兵六」

柴山 雅都

「風を感じるこだわりの居酒屋」 愛され続ける居酒屋の歴史・秘話・魅力を3代目亭主が語り尽くす。
四六並製 二四〇頁 二二〇〇円



好評刊
ISBN978-4-7948-1179-0

49歳からの「若返る」教科書

元井 益郎 / すいせん 三浦雄一郎氏

「人生設計の技術」 世界初「精神免疫学」を取り入れたアンチエイジング法。その驚異の効果と実践法を大公開！
四六並製 二四四頁 一九八〇円



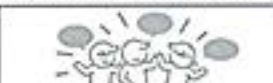
好評刊
ISBN978-4-7948-1185-1

幼児から民主主義

E・アルネール&S・ソーレマン／
伊集守直・光橋翠訳

「スウェーデンの保育実践に学ぶ」
政治への諦念と権威主義を斥け、
参加の意識を育む保育実践の手引き。
四六並製 二四四頁 二二〇〇円

最新刊
ISBN978-4-7948-1191-2



幼児から
スウェーデンの保育実践に学ぶ
民主主義

日常の保育のなかで
「民主主義」は実現できる！
参加意識を育む保育実践の手引き

挫折ポイント

A・チェインバリー&S・メイジック／
福田ステイプ利久・吉田新一郎訳

「逆転の発想で「無関心」と「やる気」
をなくす」「学びは必ず挫折する」
という前提から教室を改革する具体策。
四六並製 二六八頁 二六四〇円

最新刊
ISBN978-4-7948-1189-9



挫折
ポイント

学びは「必ず挫折する」
という前提でスタートする

静かな子どもも大切にする

C・ロマン・アラビト／
古賀洋一・山崎めぐみ・吉田新一郎訳

「内向的な人の最高の力を引き出す」
すべての人が力を発揮できる環境のつくり方やコミュニケーションの構築の仕方を紹介。
四六並製 二八〇頁 二六四〇円

好評刊
ISBN978-4-7948-1187-5



静かな
子どもも
大切にする

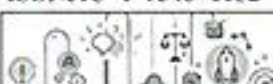
内向的な人の最高の力を引き出す

プロジェクト学習とは

S・ボス+J・ラーマー／
池田匡史・吉田新一郎訳

「地域や世界につながる教室」
教育における公平性を実現する
「プロジェクト学習」の実践法を詳説。
四六並製 四〇〇頁 二九七〇円

好評刊
ISBN978-4-7948-1182-0



プロジェクト
学習とは

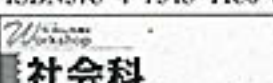
あなたが教職を志した理由は何ですか？

社会科ワークショップ

富田明宏・西田雅史・吉田新一郎

「自立した学び手を育てる教え方・
学び方」 主体的に学ぶワークショップ
形式で教室が生き生きと変貌。
四六並製 三六四頁 二六四〇円

好評刊
ISBN978-4-7948-1186-8



社会科
ワークショップ

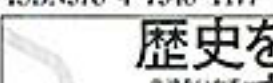
子どもの学びを
変えたいのなら、
まずは教師自身が変えよう！

歴史をする

L・S・レヴィス・テイック+K・C・バートン／
松澤剛・武内流加・吉田新一郎訳

「生徒をいかに教え方・学び方とその
評価」 多元的民主主義を支える主
体者意識を育む歴史の授業実践法。
四六並製 三七六頁 二六四〇円

好評刊
ISBN978-4-7948-1177-6



歴史を
する

歴史の出来事を知ることは、
それは「歴史をする」ことでは
ありません！！

ぼくのなかの木

コリーナルウケン(文・絵)／島津やよい訳

自然とともにある人間の生を、はじ
ける色彩の層で豊かに描く。自然・生
命・環境について考えるのに最適な絵本。
A4変上製 五四頁 一九八〇円

好評刊
ISBN978-4-7948-1181-3



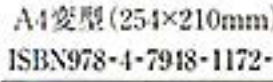
ぼくの
なかの
木

まちがいなんてないよ

コリーナルウケン(文・絵)／島津やよい訳

子どもはみんなアーティスト！想像
力と絵を描く喜びをやさしく温かく
ときはなつ、現代版「てん」日本上陸！
A4変上製 五四頁 一九八〇円

好評刊
A4変型(254×210mm)
ISBN978-4-7948-1172-1



まちがい
なんて
ないよ

畑恵子・浦部浩之編『ラテンアメリカ 地球規模課題の実践』

2020年代のラテンアメリカ地域研究を代表する1冊

■評者 舛方周一郎(東京外国語大学) 「ラテンアメリカ・レポート」38巻1号(2021年7月)

ラテンアメリカといえば、政情不安、経済的混乱、暴力・無秩序といった否定的・負の側面ばかりが想起される。実際にこの地域の諸国が対応を迫られている問題は多岐にわたり、アマゾンの森林伐採をはじめ、深刻さを増しているものも多い。しかし、同地域が今日「地球規模課題」と称される諸問題に真摯に向き合い、先駆的な挑戦を試みてきたことはあまり知られていない。その果敢な取り組みとダイナミズムを知ることは、日本に暮らす私たちが示唆的な何かに気づき、自らのあり方を振り返るきっかけになるのではない。本書の根幹には、ラテンアメリカがもつ肯定的な側面を日本社会に発信するのだという強い志がある。

本書の問題意識に答えるために、まず序章においてラテンアメリカ地域の概念、現代ラテンアメリカの政治・経済・社会の状況、地球規模課題とは何かを概観している。そのうえで核軍縮・核兵器廃絶(第1章)、環境保全・エネルギー(第2章)、市民社会・社会運動(第3章)、LGBTの権利保障(第4章)、先住民の取り組み(第5章)、教育開発(第6章)、貧困削減と社会保障(第7章)、宗教と社会活動(第8章)、真実・正義・記憶・和解(第9章)、紛争と平和(第10章)、被害者家族の連帯(第11章)、国際的な地域間協力(第12章)、政治体制と経済発展(第13章)を取り上げている。地域的な実践を紹介しているものの、コラムで取り上げた感染症、ジェンダー平等、移民を含めて、すべてが21世紀のグローバル社

会にかかわるテーマである。本書は期せずして、コロナ禍のまっただ中で出版された。本書の冒頭で編者も指摘するように、コロナ禍は否応なく「グローバル化された世界」の現実を私たちに突き付けている。特殊な歴史と空間のなかで発生する固有の問題を探索する地域研究の意義は、均一化を迫るグローバル化という新しい概念が出現してから、常に議論の的であった。網の目のようにつながる世界では、ラテンアメリカ地域で起きている問題もまた、地域の異なる文化に基づくものだとして完結させることができなくなったためである。このように国際社会では、否応なしに地球規模課題が異なる地域間と人びとの間で共有されるようになった。だからこそ、共通の課題をてが

りに、異なる国や人びとをつなげ、ラテンアメリカの経験を世界に発信しようとする本書のねらいも生まれたといえる。本書はまた、持続可能な開発目標(SDGs)が世界の合言葉となつたコロナ後の世界を、私たちがいかに構築していくかを考えるうえでも意義深い貢献を果たしている。2020年代の日本のラテンアメリカ地域研究を代表する1冊として、長く読み継がれる文献となるだろう。

ラテンアメリカ 地球規模課題の実践

畑恵子・浦部浩之編

貧困・差別・暴力なきグローバル世界を築くために、世界の市民はラテンアメリカから何を学ぶべきか。A5並製 三三四頁 三三〇〇円

「ラテンアメリカ時報」他紹介
ISBN978-4-7948-1168-4



本を売る

直接手渡すぬくもり

「この本（拙著『わたしは10歳、本を知らずに育ったの』合同出版）を読んで、自分にも何かしたいと思いついて、参加しました。」

あるワークショップで、参加された小学3年生の娘さんとお母さんから思いがけず頂いた感想に、天にも昇る心地になりました。

私が所属するシャンティ国際ボランティア会は1981年に日本で設立された国際協力NGOです。アジアで本を知らずに育つ子どもたちを対象に、本を通じた教育文化支援活動を40年続けてきました。私自身、4年間カンボジアで暮らし、バキスタンやアジア各地の難民キャンプなど10以上の国や地域で、図書館や学校を作り、人材育成研修を行い、現地で本を出版するなど読書推進・普及活動を行ってきました。

それまで10年以上現場一筋だった私ですが、2017年に冒頭の本を出版し、売れる難しさに直面することになりました。小さな組織に所属する自分がどうやって本を売るのが、日々思い悩みました。

しかし、小さな組織だからできることもあると考え、日頃お付き合いのある書店や図書館にご協力頂き、活動に興味を持ってくださる方と直接触れ合う場を作ることにしました。海外へ届ける翻訳絵本を作るワークショップや講演会を開催し、その場で本を直販しました。すると、冒頭の親子のように国際協力に関心がある方、本が好きという方が参加してくれるようになりました。「がんばってね」「こんな活動をしている人がいるとは知らなかった」という声とともに、「母校に献本するね」と、活動地で共に奮闘した仲間が声をかけてくれるなど、本を通して触れ合いが増えるのに比例して、売出手ごたえも増していきました。

コロナ禍で対面でのワークショップや直販の機会は減りましたが、オンラインに切り替えたことでむしろ参加者層の広がりを感じます。こんな時だからこそ、未来を拓く本に出合っほしい。そんな気持ちを込めながら、これからも本を届けていこうと思います。

シャンティ国際ボランティア会
広報・リレーシヨンス課
課長 鈴木晶子

本誌表示価格はすべて税込です。

書評日誌(7・7~7・31)

◎書評 ◎紹介 ◎関連記事

- 7・7 ④読売新聞「『ようちえん』は
はじめました！」
- 7・15 ④学校図書館速報「学校図書
館をハックする」
- 7・16 ④山形新聞「等話」
- 7・31 ④ラテンアメリカ・レポート
「ラテンアメリカ 地球規模課

題の実践」(舛方周一郎)▶p.6

〔4・1 ④教員おすすめ図書2021(城
西大学水田記念図書館)「『昔はよかつ
た』と言うけれど」(真殿仁美)

等話

松田道雄

「平等な会話が、あなたの人生と
社会を変える」互いに問いかけ
合う平等な会話Ⅱ等話を今こそ！
四六並製 二四四頁 二二〇〇円



学校図書館をハックする

K・A・ホルムズ・ス・エウ・ア・ス
松田ユリ子・桑田てるみ・吉田新一郎 訳

「学びのハブになるための10の方法」

学校図書館のポテンシャルを最
大限に活かすための実践的ハック集。

四六並製 二四四頁 二二四〇円



本を読む

まちがいなんてないよ

タイトルから、「あれもこれもまちがいじゃないよ」と教える本かとも思ったが、全く違う、美しい絵本だった。下の子(2歳)がよく本書の冒頭にある「描きまちがい」でかんしゃくをおこし、ピリピリに破いてしまうので、「まちがった」後の展開のおもしろさに、大人のほうが心いやされた。製本の乱丁かと思わせるほど、まさしく子どもの絵のように描線が四方へ伸びやかに広がっていくのが楽しい。コンセプトの巧みさに感じ入った。

(大阪市 大矢仁美 33歳)

静かな子どもも大切に

タイトルに惹かれて購入しました。自分も「静かな子ども」、別の表現でいえば「マイペースな子ども」だったと思います。そして、そういう子は「待ちの子育て」で、

学校なら「待ちの教育」で、見守っていくべきだと思いました。

(名古屋市会社員 木場吉行 62歳)

等話

「平等な会話」を意味する等話という概念によって、人と人が対等に話すことがいかに重要か、改めて感じさせてくれた。特に世代や職業や趣味の異なる人たちの間において。著者が挙げている「だやしや楽校」の例に、大切なヒントが潜んでいるように思う。

(鳥取市 カルチャー教室講師 北尾 勲 79歳)

好評刊

76億人が暮らす「一軒家」

〔地球で起きていることにはすべて理由がある〕
末吉正三 二六四〇円

野生動物のための

ソーシャル・ディスタンス

〔イロモテヤミヤミ、ソウの保護活動に取り組みNGO〕
戸川久美 二四二〇円

フィンランド公共図書館

〔躍進の秘密〕
吉田右子・小泉公乃・坂田ヘントネン 垂希 二七五〇円

編集部から

「社会防衛」を理由に「人間の価値」を測る行為の歴史は古い。その極北がナチの強制断種と「安楽死」だ。新刊「価値を否定された人々」はその全貌を日本の研究者が精緻に辿る力作。問題は、優生学や優生保護法が斥けられても優生思想は死なないということ。2016年には神奈川の障害者施設で凄惨な事件が起き、つい先日も著名な奇術師が「生活保護受給者やホームレスはいない方がいい」と公言して密かに支持を集めた。ゴロナ禍で「上級国民」以外の命は選別され始めている。やめさせるには内なる「価値幻想」を見つめ直さねばならない▼「絵本の読み聞かせを動画配信したい」というお問い合わせが増えていきます。翻訳作品の場合、内容を改変しない、非営利の対面での読み聞かせは問題ありませんが、ネット上での動画配信は著作権者への確認が困難なため、お断りしております。

営業部から

▼直近3ヶ月(2021年5月~7月)弊社のアマゾン売上ベスト15をご紹介します。

- ① プロジェクト学習とは
- ② たった一つを変えるだけ
- ③ 歴史をする
- ④ ぼくは にんげん
- ⑤ 最高の授業
- ⑥ 20代で身につけたい働き方の基本
- ⑦ スウェーデンの
小学校社会科の教科書を読む
- ⑧ ギヴァー 記憶を注ぐ者
- ⑨ あなた自身の社会
- ⑩ 静かな子どもも大切に
- ⑪ 地球に降り立つ
- ⑫ 虚構の「近代」
- ⑬ 学校図書館をハックする
- ⑭ フィンランド公共図書館
- ⑮ 読む文化をハックする

SBC(新評論ブッククラブ)のご案内

会員は送料無料で各種特典あり！お申し込みを！

当クラブ(一九九九年発足)は入会金・年会費なしで、会員の方々に弊社の出版活動内容を紹介する月刊PR誌「新評論」を定期的に送付しております。入会登録後、弊社商品に添付された読者アンケートハガキを累計5枚お送りいただくことで、全商品の中からご希望の本を1冊無料進呈する特典もございます。ご希望の方は小社HPフォームからお送りいただくか、メール、またはハガキにて、お名前、郵便番号、住所、電話番号を明記のうえ、弊社宛にお申し込みください。折り返し、SBC発行の「入会確認証」をお送りいたします。